

# 北鷹、秋田北、六郷など 県立高6校で113人削減 県教育庁が25年度定員案

県立高校の学校・学科ごとの定員削減案

学 校	学 科	2024年度		2025年度		
		学級定員	学級数	学級定員	学級数	削減数
大館国際	普通	40人	2	35人	2	10人
秋田北鷹	普通	35	4	40	3	20
能 代	普通	35	5	40	4	15
秋田北	普通	38	6	35	6	18
西 目	総合	35	4	40	3	20
六 郷	普通	35	2	40	1	30

削減後の各校の定員は大館国際140人、秋田北鷹190人、能代195人、秋田北210人、西目200人、六郷75人となる。定時制は削減しない。

削減後の各校の定員は大館国際140人、秋田北鷹190人、能代195人、秋田北210人、西目200人、六郷75人となる。定時制は削減しない。

県教育庁は28日、2025年度に入学定員を削減する県立高校と学科の案を公表した。対象となるのは全日制の6校で、大館国際情報学院、秋田北鷹、能代、秋田北、西目の各普通科と西目の総合学科。生徒数の減少や定員の充足率低下などを踏まえた。7月の県教育委員会会議で正式に決定する。

21日には入学定員を全県で計113人削減する案を公表していた。削減の内訳は大館

国際10人、秋田北鷹20人、能代15人、秋田北18人、西目20人、六郷30人。大館国際と秋田北は各学級の定員を減らし、秋田北鷹と能代、西目、六郷は学級数を一つずつ減らす。

削減後の各校の定員は大館国際140人、秋田北鷹190人、能代195人、秋田北210人、西目200人、六郷75人となる。定時制は削減しない。

高校教育課によると、25年3月に中学校を卒業する生徒数は前年より15人少ない7012人の見込み。

同課は「定員充足率が低くなってきたことを踏まえ、削減数を決めた」としている。

(本多恒顕)